

平成25年度技術士第二次試験問題〔水産部門〕

14-2 水産加工【選択科目Ⅱ】

II 次の2問題（II-1, II-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

II-1 次の4設問（II-1-1～II-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

II-1-1 水産物の鮮度判定方法について、官能的方法、化学的方法、及び微生物学的
方法に分け、その内容を述べよ。

II-1-2 ノロウイルスによる食中毒について、ウイルス自体の特徴、及び感染経路を
明らかにした上で、それによる食中毒を予防する方法について述べよ。

II-1-3 魚肉練り製品原料としての、赤身魚類と白身魚類の筋肉化学組成と性状を比
較説明し、練り製品のゲル形成能が異なる理由を述べよ。

II-1-4 食品の凍結理論について説明し、氷結晶の生成と、その防止方法について述
べよ。

II-2 次の2設問（II-2-1, II-2-2）のうち1設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し、答案用紙2枚以内にまとめよ。）

II-2-1 冷凍食品「ポテトコロッケ」【加熱後摂取冷凍食品（凍結前未加熱）】の製品が、大腸菌（E. coli）陽性であることがわかった。あなたが、この工場の品質管理担当者であるとして、この問題を解決するに当たり、以下の問い合わせに答えよ。

- (1) この製品をどのように処理するか。
- (2) 大腸菌（E. coli）陽性になった原因を、どのように特定するか。
- (3) 大腸菌（E. coli）陽性を、発生させないために、どのように対策をとるか。
- (4) 他の商品に、類似の品質事故を発生させないために、どのように予防処理をとるか。

II-2-2 蒸しかまぼこ製造工程でHACCP衛生管理方式を導入するに当たり、以下の問い合わせに答えよ。

- (1) 蒸しかまぼこの製品特色と、製造工程を示せ。
- (2) 蒸しかまぼこ製造に関する危害の原因物質を、生物学的、化学的、及び物理的に分類して示せ。
- (3) CCPとして管理する工程を1つ選んで、CCP整理表である、(A) 危害の発生要因、(B) 管理基準の設定、(C) モニタリングの方法、(D) 改善方法、及び(E) 検証方法について述べ、整理表を完成させよ。

平成25年度技術士第二次試験問題【水産部門】

14-2 水産加工【選択科目III】

III 次の2問題（III-1, III-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し、
答案用紙3枚以内にまとめよ。）

III-1 近年、国民全体に「魚離れ」が進行し、水産物消費が減退している。水産物は、「身近な自然の恵み」であるとともに、人の健康に有用な様々な栄養成分を含んでおり、国民の健康の維持向上にも寄与するものであることを踏まえ、関係者が連携して水産物の消費拡大に取り組むことが重要である。そういった社会状況を考慮して、以下の問いに答えよ。

- (1) 最近の状況を踏まえて、水産物の消費拡大のために、検討しなければならない項目を、多様な視点から述べよ。
- (2) 上述した検討しなければならない項目に対して、解決すべき技術的課題を抽出するとともに、主要な課題解決のために、実現可能な対応策を、複数提示せよ。
- (3) それぞれの対応策を実施した場合の効果（メリット）や、それを実施する際の問題点について述べよ。

III-2 水産加工の面から魚介類の利用拡大方策について、以下の問いに答えよ。

- (1) 魚介類が食品として優れている理由を述べよ。
- (2) 一般成分中で、優れている成分について述べよ。
- (3) 機能性成分として、優れている成分について述べよ。
- (4) 魚介類の優れた成分を活かした水産加工について、具体的な加工方法と、その効果について述べよ。